

事業名	公民館支援ボランティア養成講座
事業の特徴	公民館講座の企画運営に参画するボランティアの養成（講座修了者と一緒に企画する講座の実施、公民館運営における活躍の場の工夫）

実施機関名	長崎市教育委員会教育総務部（中央公民館）
連絡先	〒850-0874 長崎県長崎市魚の町5-1 TEL 095-825-1948 FAX 095-820-2605 URL http://www1.city.nagasaki.nagasaki.jp/kouza/index.html
事業規模	市区町村
事業主体	社会教育施設
事業のテーマ分野	まちづくり（公民館活動）

1 事業の概要

公民館支援ボランティア養成講座は、「ボランティアというライフスタイル（大学教授によるボランティア活動についての講義及び実技）」「公民館講座をもっと楽しむ（公民館職員による講座と実技）」「語ろう！公民館ボランティア（公民館支援ボランティアとのグループ討議）」という内容で、3回の講座を実施している。

この講座では、ボランティアについての座学だけではなく、ワークショップ形式も取り入れ実施している。修了後、希望者は公民館支援ボランティアとして登録し、月例の公民館支援ボラン



公民館支援ボランティア養成講座



公民館支援ボランティア会議

ティア会議での講座の企画や運営、ボランティアとして公民館講座の運営支援、あるいは公民館講座の講師を務めるなどしている。

2 事業の趣旨、目的

平成17年度、長崎市中央公民館では学校教育において学校の安全・安心を守る地域ボランティアが求められている社会的要請を受け、春の講座で「学校支援ボランティア入門」を企画した。その実践の場として、公民館で実施する青少年講座の一部を学校支援ボランティア支援講座と位置づけ、公民館職員とともに「学校支援ボランティア入門」を受講生が企画・運営したところ、講座内容が充実して、大好評であった。その成果をもとに公民館支援ボランティア養成講座を企画し、公民館講座を企画・運営する人材を育成し、公民館講座の充実を図ることとした。

この講座では、公民館講座受講生や自主学习グループで活動している人を中心に、広く市民に呼び掛け、ボランティアとして公民館講座の企画や運営に参画する人材を育てるとともに、市民が公民館講座等で学んだ成果を社会還元することを目的としている。さらに、地元自治会や各種団体が市民活動のリーダーとして活躍する地域課題を解決する人材の育成をも視野に入れている。

3 事業の内容

(1) 学習の内容

公民館支援ボランティア養成講座

この養成講座は、第1回は大学教授によるボランティアについての講義、第2回は中央公民館職員による公民館講座の企画・運営についての講話、第3回はすでに公民館支援ボランティアとして活動している先輩と受講生のグループ討議を実施している。各回に、ワークショップやアイスブレイクなど、座学だけではなく、実際の活動に結びつく体験活動も取り入れている。

(2) 学習成果を活用したボランティア活動等の内容及び推進の方法

公民館支援ボランティア支援講座

平成18年度秋の講座から公民館支援ボランティアが公民館講座の企画や運営に関わる「公民館支援ボランティア支援講座」として「長崎よろず学～長崎の史跡と美術を学ぶ」を始めた。その後、公民館支援ボランティア支援講座として、毎回テーマを設け、公民館職員とともに、企画案を出し合いながら、講座づくりをしている。ともすれば、職員の思いが先行しがちであるが、公民館支援ボランティアと一緒に企画を立てることで、公民館講座受講生や市民のニーズを取り入れることができる。平成21年度は、「長崎散歩～市



公民館支援ボランティア養成講座チラシ



公民館支援ボランティア支援講座「長崎散歩～市制120周年を迎えて～」のチラシ

制120周年を迎えて～」 「長崎よろず学～龍馬の足跡を訪ねて～」 「波乱万丈 龍馬が生きた時代」 「長崎よろず学～近代日本夜明けの道を行く～」 「還暦世代におくる“アラ還”スクール」 「災害④ 台風～わが家と地域を守るのはあなたです」 「長崎歳時記」 「音楽鑑賞」を実施した。

（3）推進体制等の仕組み

公民館支援ボランティア会議

公民館支援ボランティア会議は全体会を月1回行い、講座の企画や役割分担について話し合う。ボランティアは講座ごとに担当者を決めて、その講座の企画運営に取り組む。そのため、必要があれば、講座ごとに部会を開き話し合う。講座の担当者になったボランティアは学習内容・回数・講師・チラシなどの原案を出し講座担当者同士で話し合ったり、全体会で課題となっている点について仲間から意見をもらったりして、企画を練り上げ、講座の細部の調整を行う。

公民館職員はボランティアと一緒に講座運営に加わるが、ボランティアが中心で企画した講座を実際に運営してもらっている。ボランティアは、主に講座の受付や講座開始の挨拶、資料の配布、講師から依頼された準備品の設置、まち歩きの安全確保等を行う。講座の最終回では次の講座のためにアンケートを取り、企画した講座については、それぞれ反省を行い、講座企画に生かすようにしている。



講座で司会を務める様子



外歩き講座での受付の様子

4 成果と今後の取組

今や、公民館支援ボランティアは中央公民館講座の企画・運営に欠かせない存在となっている。平成21年度の公民館支援ボランティア支援講座の参加者実績は、延べ1,466人。公民館支援ボランティアを公民館講座の企画・運営に導入した成果としては、①講座の企画の幅が広がり、市民の目線に立って講座の企画ができること②講座の運営（受付・資料配布・次回予告等）がスムーズにできること③館外での活動が安心・安全にできること④公民館講座修了生を活用する循環型の公民館講座が実施できたことの4点が挙げられる。

また、今後の課題としては、①ボランティア養成だけでなく、活動充実を図る研修会を実施すること②ボランティア一人一人の持ち味をさらに活かすこと③ボランティア活動で学んだことを地域へ還元するシステムを構築することの3点が挙げられる。

現在、長崎市内には、公民館活動を支援するボランティアは他にもいるが、講座の企画・運営に携わる公民館支援ボランティアは中央公民館にしかないのが現状である。今後は、市内の大型公民館を中心に、公民館講座に関わるボランティアの育成を図り、市民が生きがいを感じ生涯学習に進んで取り組めるよう、この事業を推進していきたい。



長崎よろず学～近代日本の夜明けの道を行く！
～「シーボルトも歩いた日見街道」



長崎歳時記 そば打ち
～蕎麦屋さんから学ぶ年越しそば

【執筆者の職・氏名】長崎市教育委員会教育総務部 中央公民館 社会教育主事 椋本 博志